

## 第 217 回 暮らしの SDGs 学習会 議事録

1. **参加者** (会員：敬称略) 増永、横田、大塚、笠原、小川、黒島、古山、古市、筒井 (記)  
(その他) 新美氏、阿部氏 (Instagram 導入の指導：指導後退席)
2. **日時** 2026 年 1 月 9 日 (金) 13:30 ~ 15:00
3. **場所** 生涯学習センター 3 階 会議室
4. **テーマ** ソーラーシェアリングの現状と課題、OBN の Instagram 導入について
5. **説明** Instagram について (古市会員、阿部氏)  
ソーラーシェアリングの現状と課題 (筒井：OBN 会員、学習会担当)
6. **内容** 先に Instagram への OBN ページ導入について説明があり、その後、ソーラーシェアリングについて研修資料等を用い説明があった。(説明内容は以下の通り)

### <Instagram について>

- \* 現在、Instagram に obn2002 のアカウントで PR 用のページを開設している。なお、Facebook にも同一のアカウントでページが存在するが関連はない。
- \* Instagram のページの閲覧や投稿にはスマホにアプリのインストールが必要。  
⇒ 阿部氏の補助を受け、古市会員から出席者のスマホへのアプリインストール指導。

### <ソーラーシェアリングについて>

- \* 昨年 (2025 年) 9 月に「自然エネルギーを広めるネットワークちば」という団体で、「市民エネルギーちば株式会社」の専務 (西山氏) よりソーラーシェアリング (以下ソラシェアと略) についての講演が開催されたので、その内容について説明を行った。  
(市民エネルギーちば専務の講演の動画を視聴予定だったが、機器に問題があり口頭説明)
- \* 「自然エネルギーを広げるネットワークちば (リネットちば)」は、千葉県内で多くの団体会員と個人会員を持ち、勉強会等を開催することにより自然エネルギーの普及に努めている。
- \* ソラシェアには、一般社団法人の協会があり、その普及に努めている。その HP によると、市民エネルギーちばのソラシェアは、日本一の規模であると記載されている。
- \* ソラシェア協会等の HP によると、ソラシェアは、2004 年に特許が取得され、2005 年に無償で公開された。2010 年から市原市で実証実験が行われ 50 種類以上の野菜が育つことを確認。2013 年に農水省指針で「営農型太陽光発電」という名称で農地でのソラシェアが認められた。2021 年には農業法人のソラシェアによる発電収入が、農業関連収入として認められた。
- \* 市民エネルギーちばは、2014 年に設立され、千葉県匝瑳市に本店を置き、ソラシェアの発電事業を開始した。現在、低圧は 23 号機まで、高圧は 360Kw が通電済みである。なお、FIT の買取価格の低下や FIT の適用期間後の設備の買取価格の低下で、経営は厳しい状況である。
- \* ソラシェアのメリットとしては、以下のようなものがあげられる。
  - ・影が細く移動するために必ず作物に日が当たる。(作物の成長に必要な光が確保できる)
  - ・パネルから落ちる (通常の太陽光発電と比較すると) 雨だれの影響が小さい。
  - ・細型パネルで、自重や風圧荷重が小さく風圧や地震等に強い。

### <次回予定>

- 日時 = 2026 年 2 月 13 日 (金) 13:30 ~ 15:00
- 場所 = 流山市生涯学習センター 3F 会議室
- 内容 = 森林インストラクターとは何か、またその役割は？
- 講師 = 山浦信介氏 (NPO 法人 千葉県森林インストラクター会 所属)